

あきる野市

子育てニーズ調査 集計結果速報【概要版】

1. 調査の実施

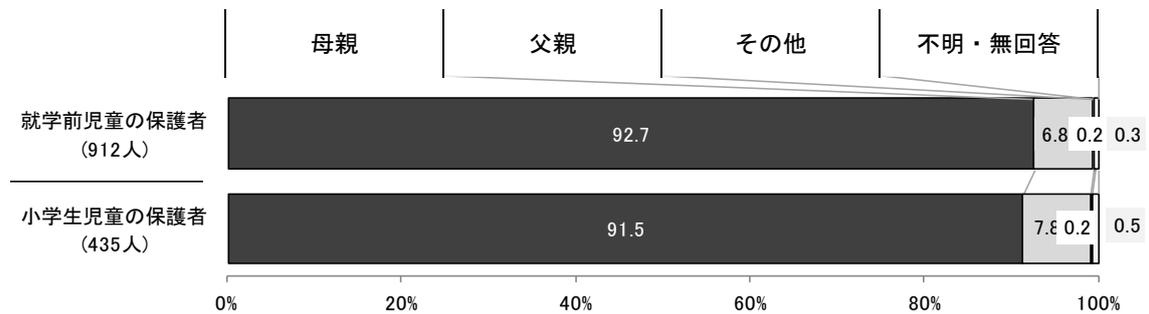
調査対象	①就学前児童の保護者 2,000人 ②小学生児童の保護者 1,000人
調査の実施方法	郵送による配布、回収
調査期間	平成25年10月7日～10月25日
回収件数	①就学前児童の保護者：912件（45.6%） ②小学生児童の保護者：435件（43.5%）
グラフの見方	<p>(1) 集計結果はすべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。</p> <p>(2) 複数回答の設問の場合、集計結果の合計が100.0%を超えることがあります。</p> <p>(3) グラフおよび表にある（ ）内の数字は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。</p> <p>(4) 文中の(SA)は、単数回答(single answer)を表し、(MA)は複数回答(multiple answer)を表しています。</p>

2. 調査の結果概要

(1) 保護者の状況

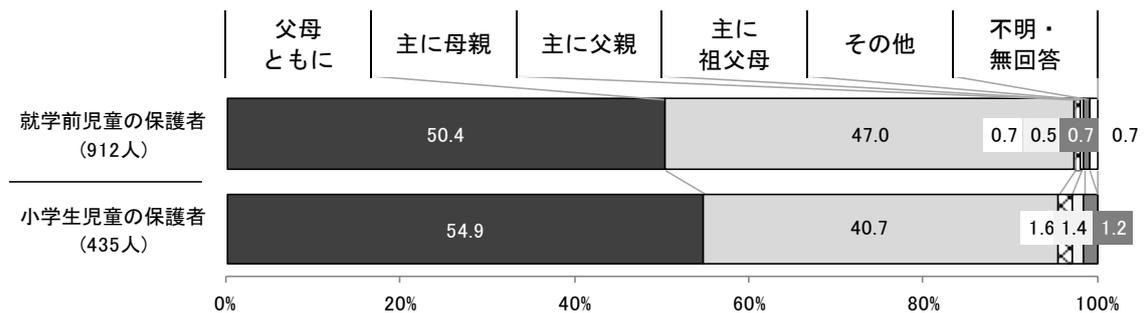
①アンケートの回答者について (SA)【就学前：問3、小学生：問3】

アンケートの回答者については、就学前児童の保護者（以下、就学前と言います。）、小学生児童の保護者（以下、小学生と言います。）ともに、「母親」が回答の大半を占めています。



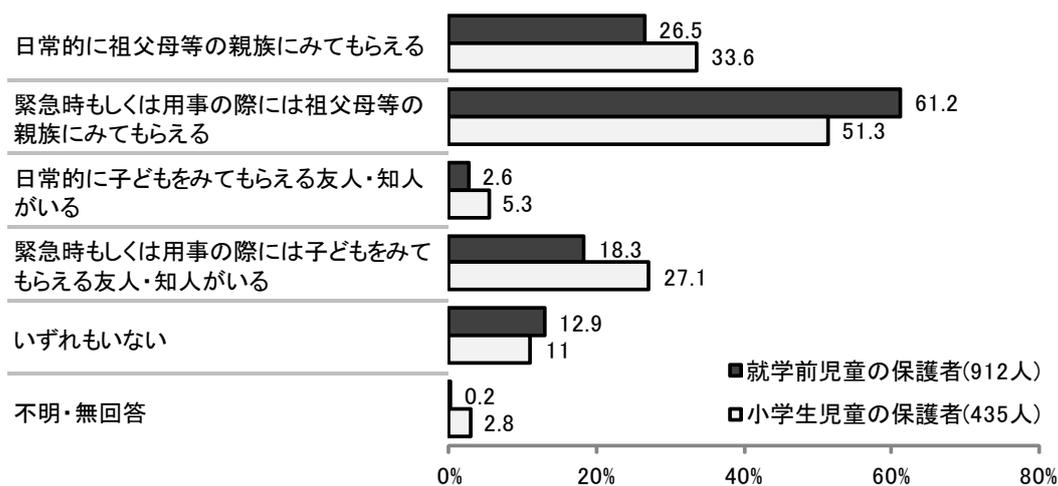
②主に子育て（教育を含む）を行っている人 (SA)【就学前：問4、小学生：問6】

主に子育て（教育を含む）を行っている人については、就学前、小学生ともに、「父母ともに」が5割以上と最も多く、次いで「主に母親」がそれぞれ4割以上となっています。



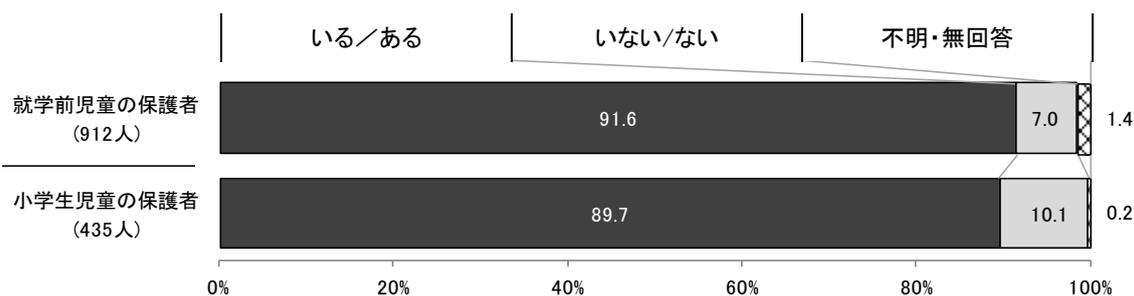
③子どもをみてもらえる親族・知人の状況（MA）【就学前：問8、小学生：問8】

子どもをみてもらえる親族・知人の状況については、就学前、小学生ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が5割以上と最も多く、就学前の回答が小学生を約10ポイント上回っています。次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前26.2%、小学生が33.4%と多くなっています。



④気軽に相談できる人・場所の有無（SA）【就学前：問9、小学生：問7】

気軽に相談できる人・場所の有無については、就学前、小学生ともに「いる／ある」が9割程度となっています。また、就学前、小学生ともに「いない／ない」は1割前後となっていますが、小学生の回答が就学前の回答を若干上回っています。

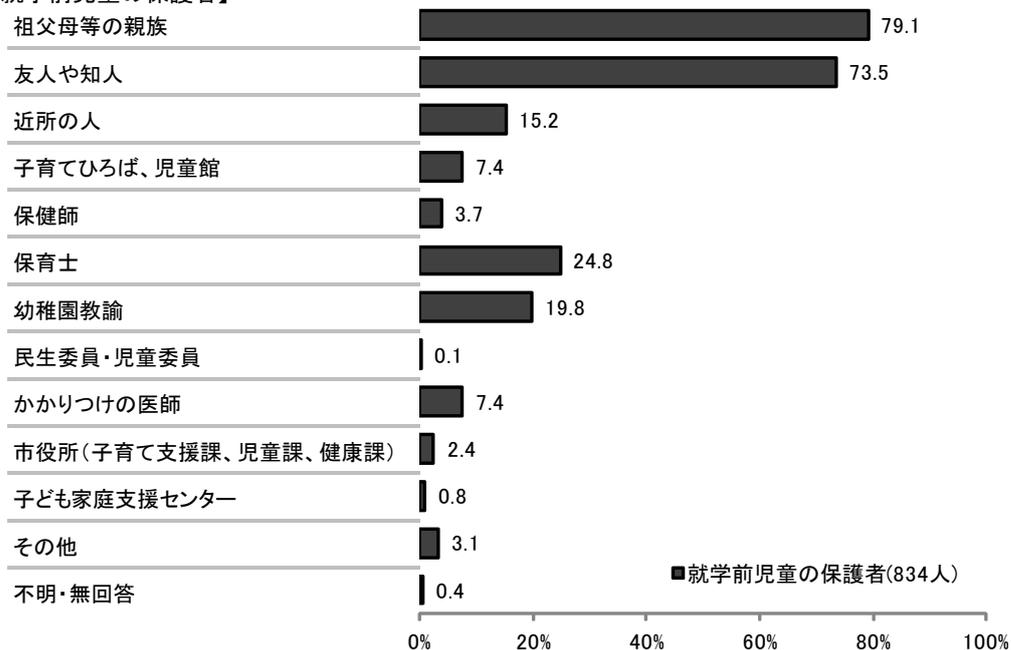


④-1 気軽に相談できる先について (MA)【就学前：問9-1、小学生：問7-1】

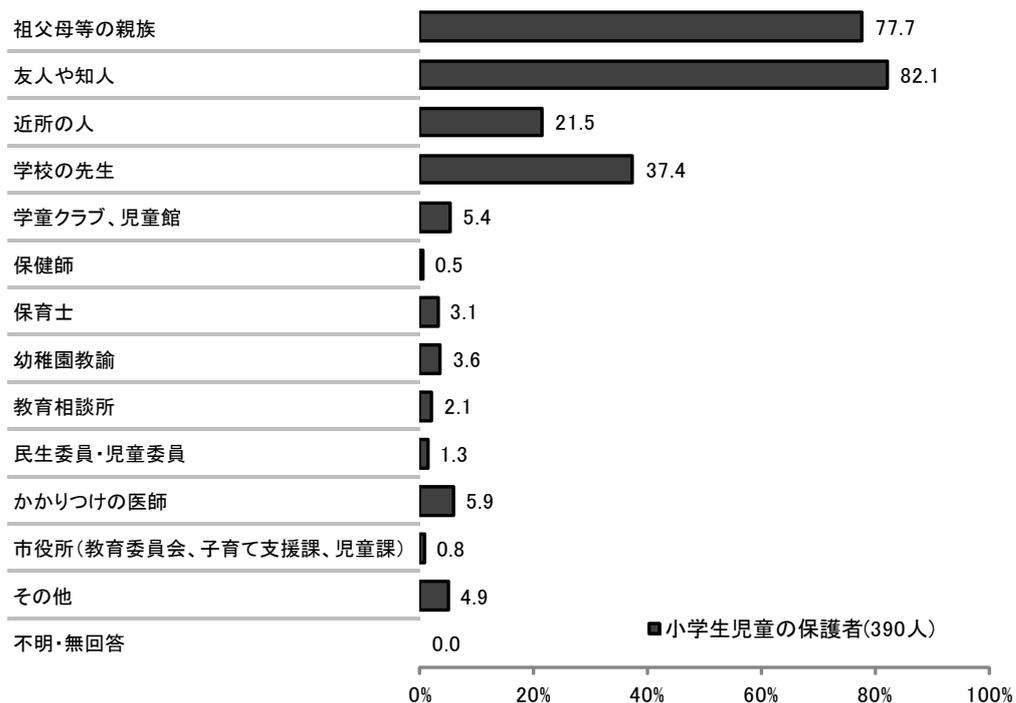
気軽に相談できる先については、就学前では「祖父母等の親族」、「友人・知人」が7割以上と回答の大半を占めています。続いて「保育士」が24.8%、「幼稚園教諭」が19.8%となっています。

小学生については、「友人・知人」が82.1%が最も多く、次いで「祖父母等の親族」が77.7%と多くっており回答の大半を占めています。続いて、「学校の先生」が37.4%、「近所の人」が21.5%となっています。

【就学前児童の保護者】



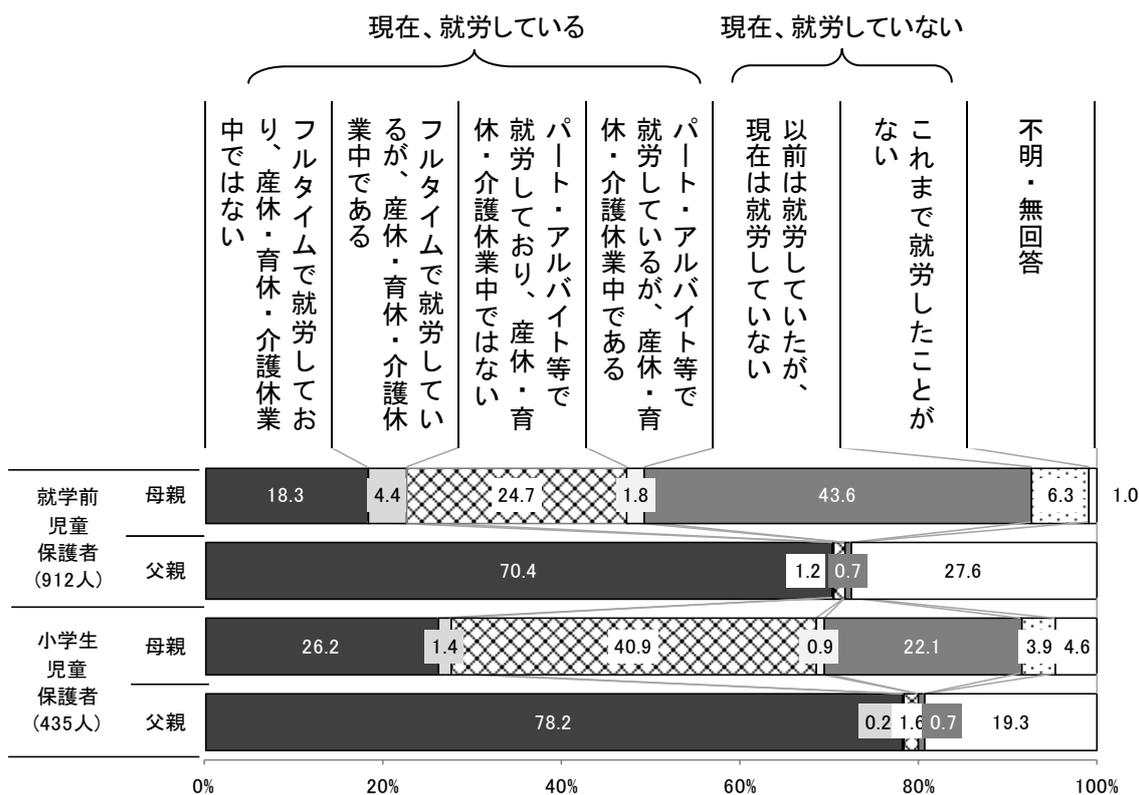
【小学生児童の保護者】



⑤保護者の就労状況について（SA）【就学前：問10、小学生：問9】

保護者の就労状況については、母親では就学前に比べて、小学生で『現在、就労している』という回答が多くなっており、反対に、小学生に比べて就学前で『現在、就労していない』という回答が多くなっています。

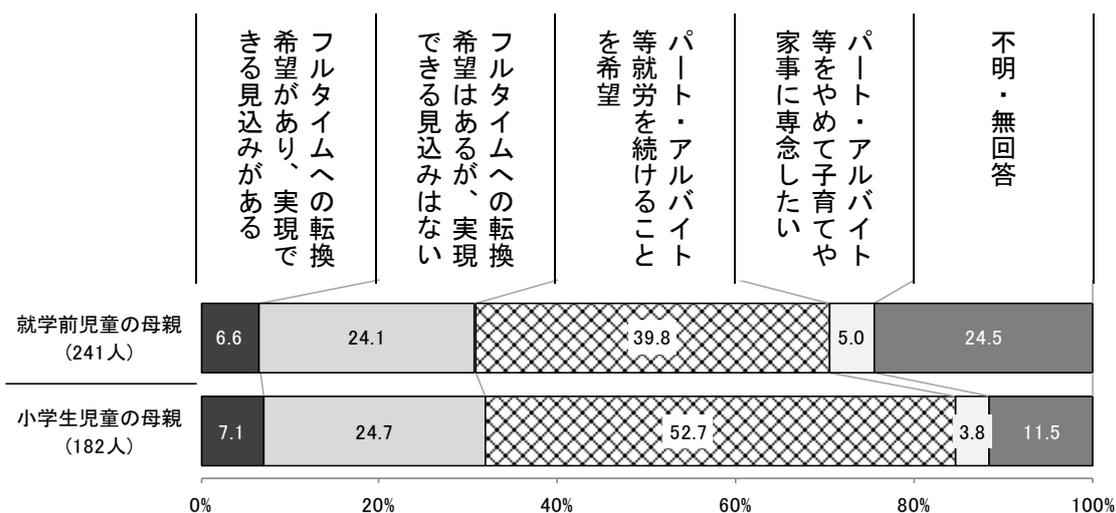
父親では、就学前、小学生ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が回答の大半を占めています。



⑤-1 母親のパートやアルバイトからのフルタイムへの転換希望の状況（SA）

【就学前：問11、小学生：問9-1】

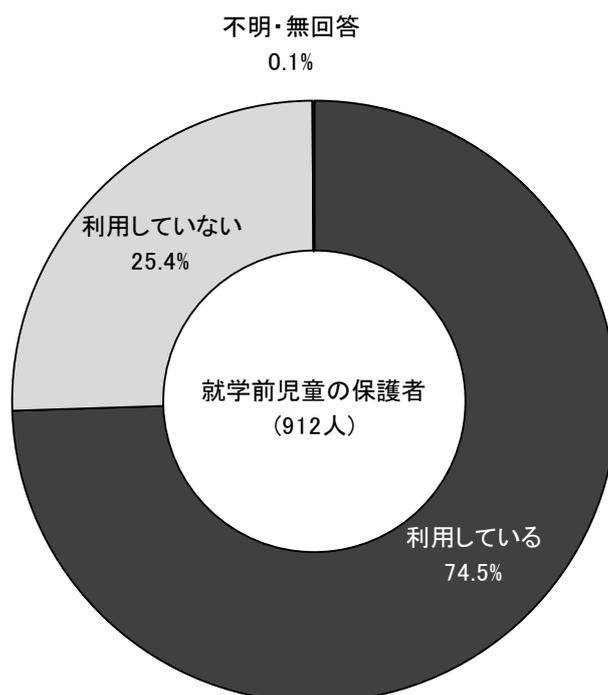
母親のパートやアルバイトからのフルタイムへの転換希望については、就学前、小学生ともに「パート・アルバイト等就労を続けることを希望」が最も多く、小学生では回答が5割を超え、就学前を10ポイント以上上回っています。



(2) 平日の定期的な教育・保育事業について

⑥ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 (SA)【就学前：問13】

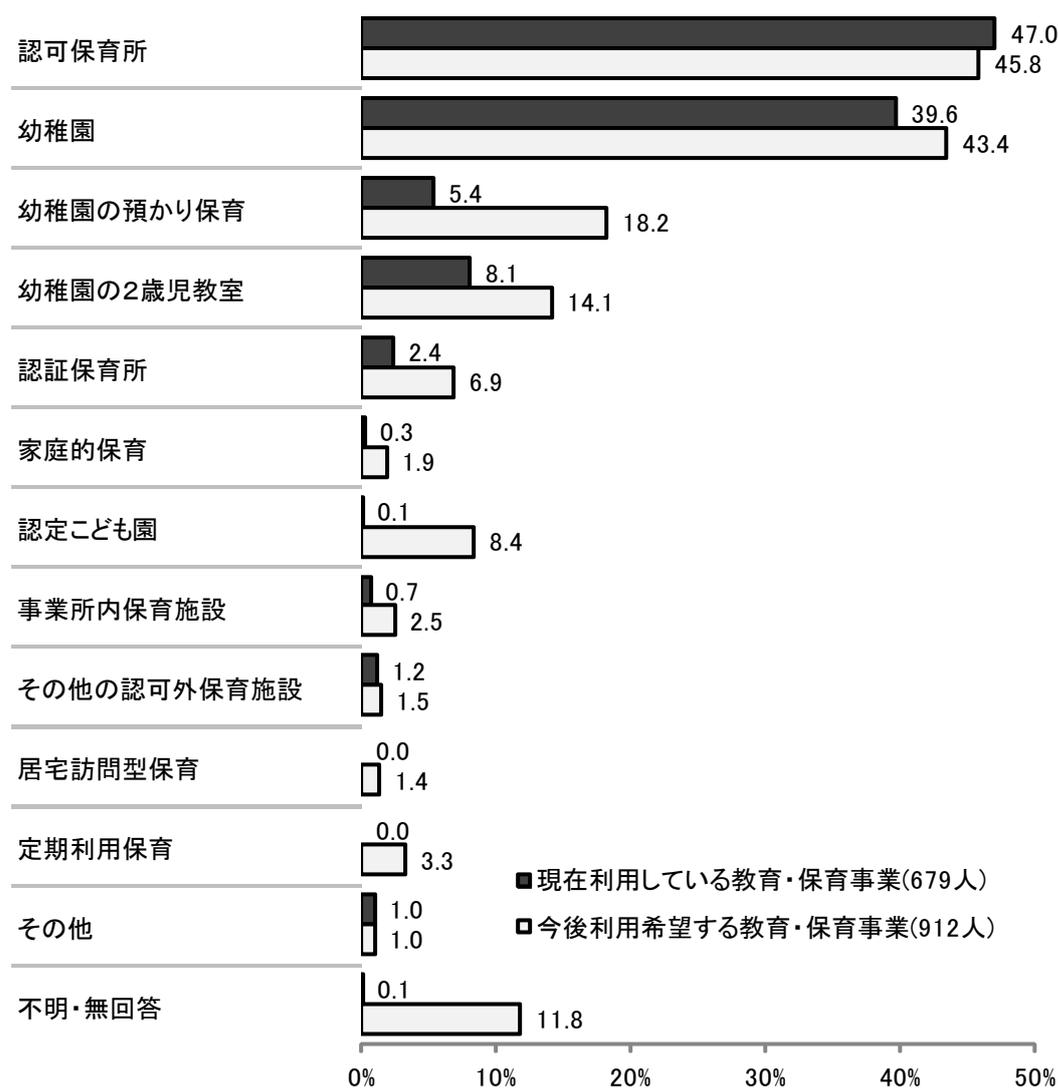
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が 74.5%、「利用していない」が 25.4%となっています。



⑥-1 現在利用している平日の定期的な教育・保育事業（MA）と今後利用を希望する平日の定期的な教育・保育事業（MA）【就学前：問13、問14】

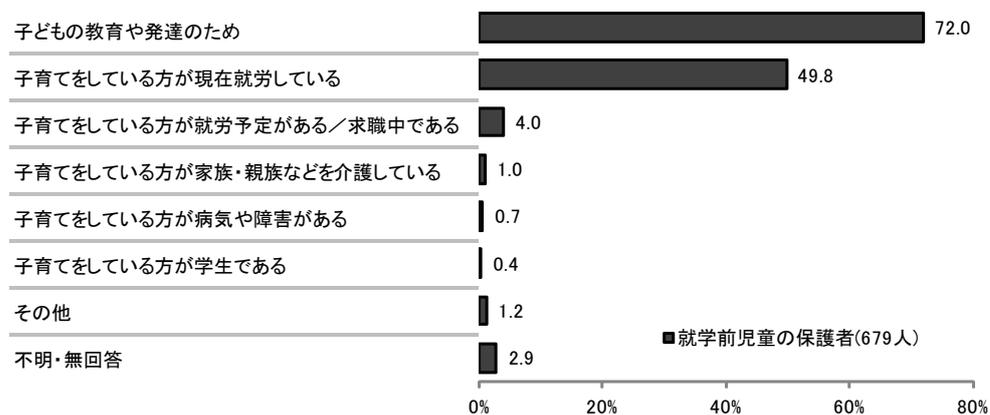
現在利用している平日の定期的な教育・保育事業、今後利用を希望する平日の定期的な教育・保育事業ともに、「認可保育所」が最も多く、次いで「幼稚園」が多く、概ね現状の利用状況と希望が一致する傾向となっています。

その一方で、「幼稚園の預かり保育」「幼稚園の2歳児教室」「認証保育所」「認定こども園」では今後の利用を希望する回答が現在の利用を大きく上回っています。



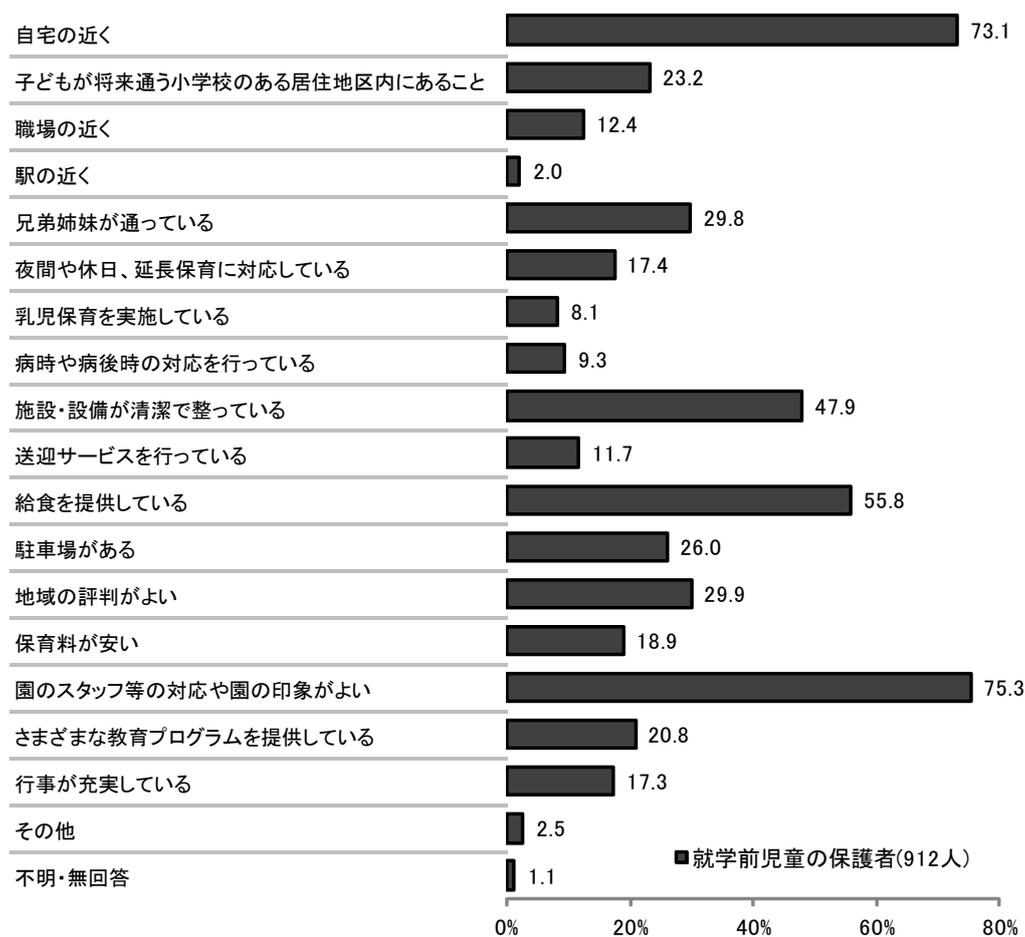
⑥-2 平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由（MA）【就学前：問 13-4】

平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由については、「子どもの教育や発達のため」が72.0%と最も多く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が49.8%と回答の大半を占めています。



⑦ 平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点（MA）【就学前：問15】

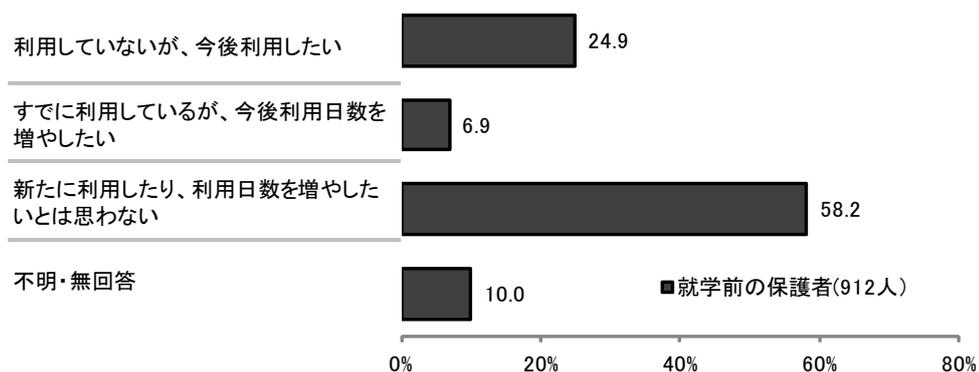
平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点については、「園のスタッフ等の対応や園の印象がよい」「自宅の近く」がそれぞれ7割以上と突出して多く、次いで「給食を提供している」が55.8%、「施設・設備が清潔で整っている」が47.9%と多くなっています。



(3) 子育て支援拠点事業について

⑧ 子育てひろばの利用状況 (SA)【就学前：問25】

子育てひろばの利用状況については、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 6.9%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 58.2%、「利用していないが、今後利用したい」が 24.9%となっています。

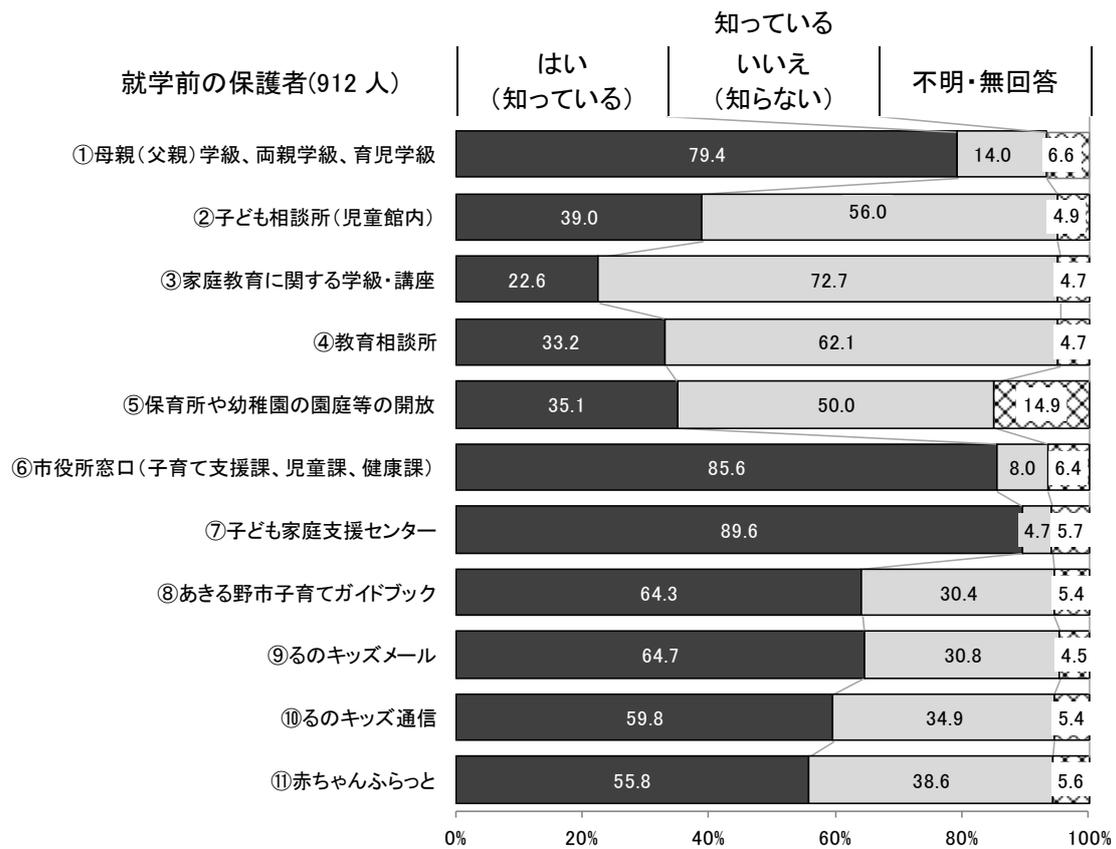


(4) あきる野市の子育て支援事業等について

◎-1 あきる野市の子育て支援事業等で知っているものについて (SA)

【就学前：問26】

あきる野市の子育て支援事業等で知っているものについては、②、③、④、⑤を以外の項目では「はい (知っている)」が5割以上を超えており、特に①、⑥、⑦では7割以上と回答が多くなっています。

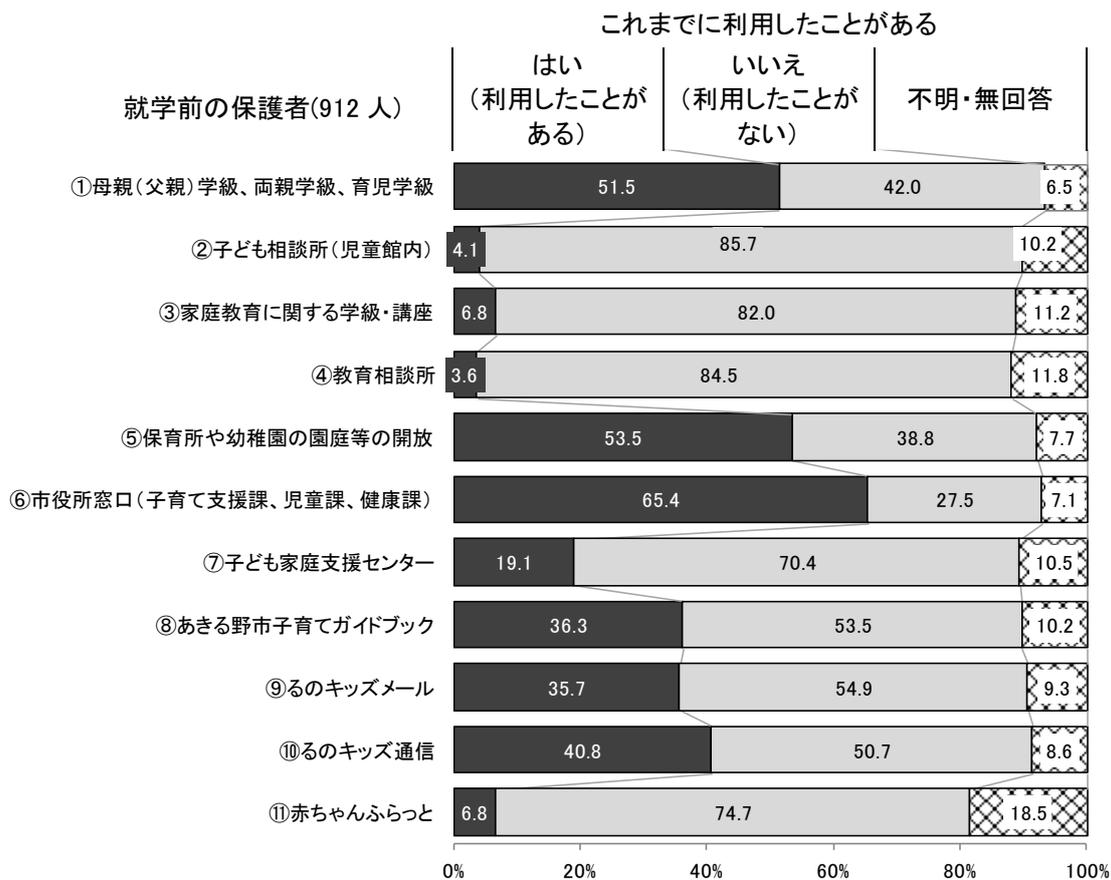


⑨-2 あきる野市の子育て支援事業等の利用状況について（SA）

【就学前：問 26】

あきる野市の子育て支援事業等の利用状況については、①、⑤、⑥では「はい（利用したことがある）」が5割以上となっています。

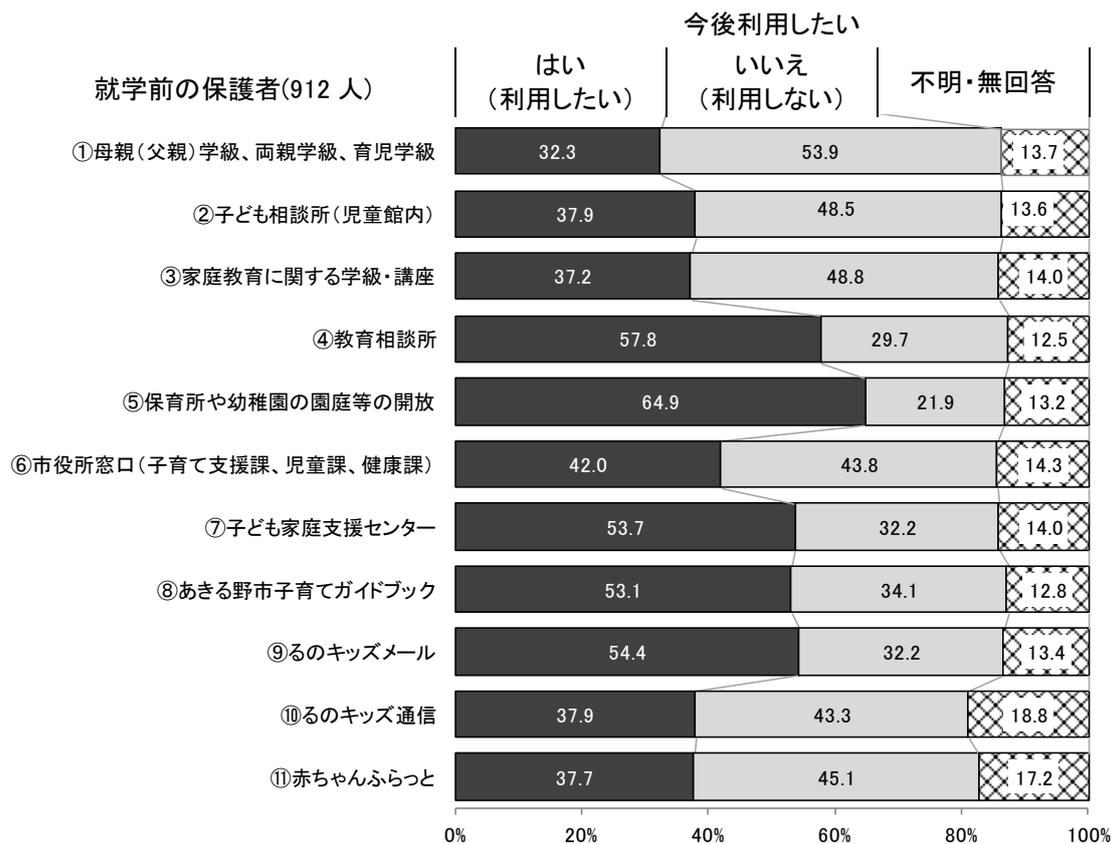
また、②、③、④、⑩では「はい（利用したことがある）」が1割以下となっています。



⑨-3 あきる野市の子育て支援事業等の今後の利用意向について（SA）

【就学前：問26】

あきる野市の子育て支援事業等の今後の利用意向については、④、⑤、⑦、⑧、⑨で「はい（利用したい）」が5割以上となっており、特に⑤は今後の利用したいと回答した人が6割以上となっています。

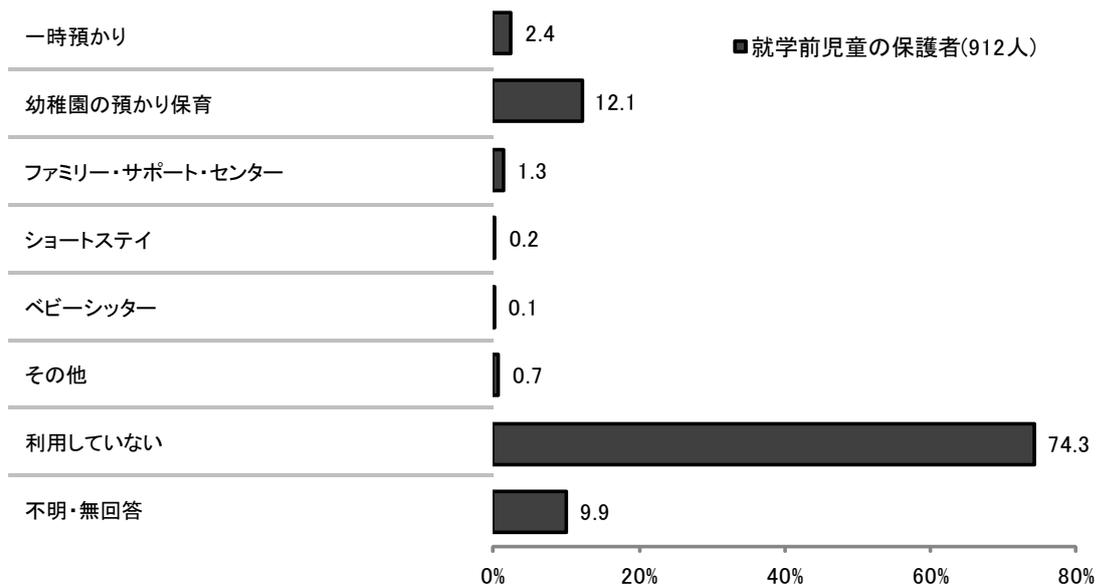


(5) 一時預かりの利用状況について

⑩不定期に利用している教育・保育事業について（SA）

【就学前：問 30】

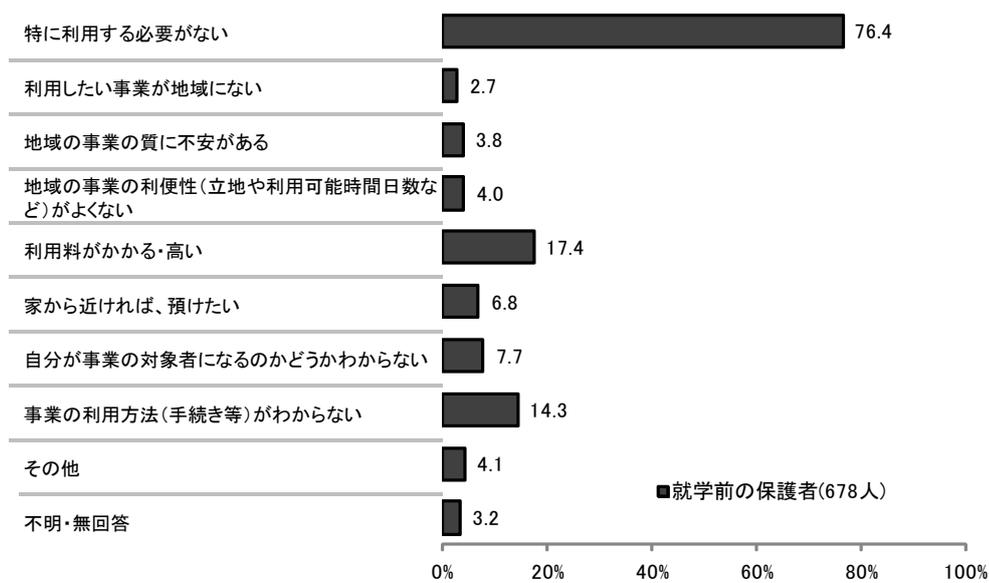
不定期に利用している教育・保育事業については、「利用していない」が74.3%と最も多くなっています。



⑩-1 不定期的に教育・保育事業を利用しない理由（MA）

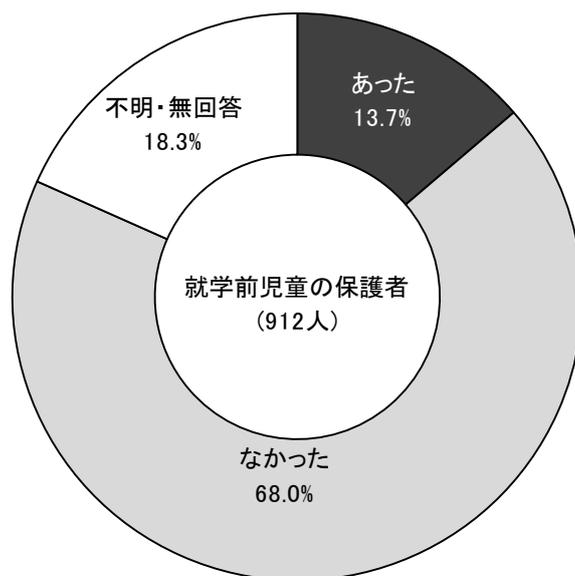
【就学前：問 30-1】

不定期的に教育・保育事業を利用しない理由については、「特に利用する必要がない」が76.4%と最も多く回答の大半となっています。その一方で、「利用料がかかる・高い」、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」で1割程度の回答があります。



⑪ 冠婚葬祭などにより子どもを泊まりがけで家族にみてもらった状況の有無
(SA)【就学前：問33】

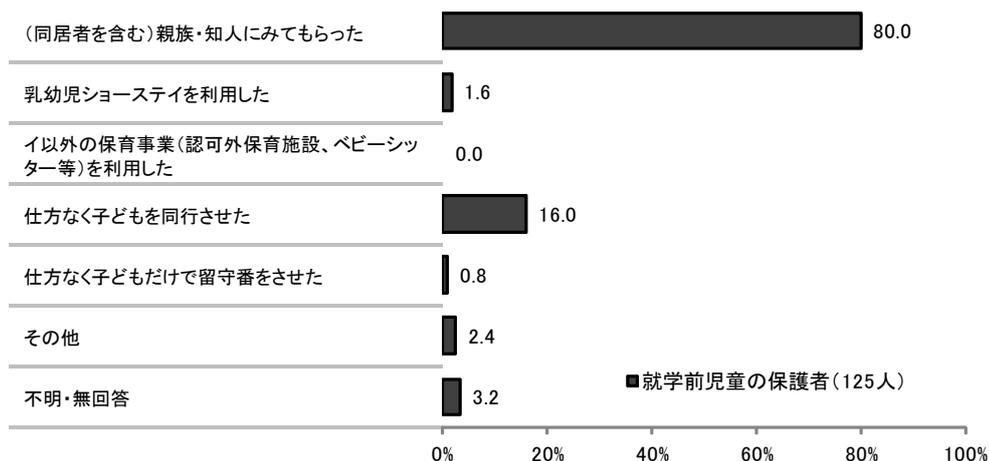
冠婚葬祭などにより子どもを泊まりがけで家族にみてもらった状況の有無については、「なかった」が68.0%、「あった」が13.7%となっています。



⑪-1 冠婚葬祭等の泊まりがけの保護者の用事の際の対処方法（MA）

【就学前：問 33】

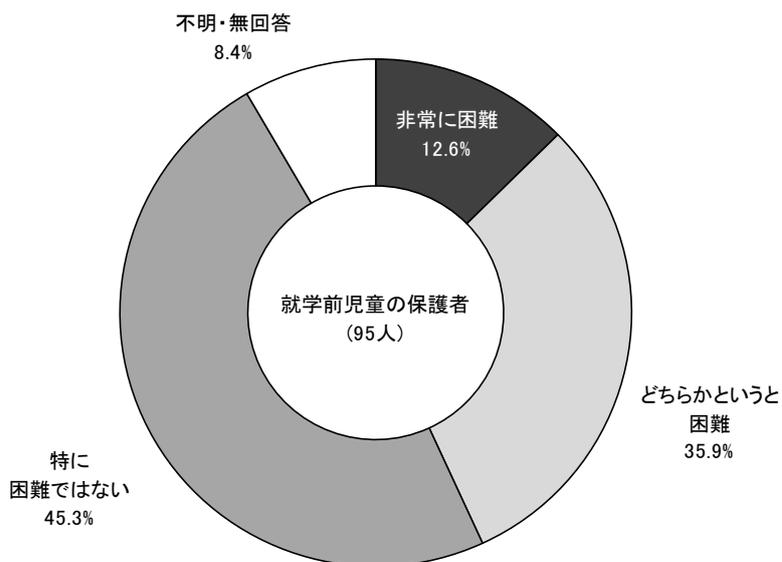
冠婚葬祭等の泊まりがけの保護者の用事の際の対処方法については、「(同居を含む)親族・知人にみてもらった」が80.0%と回答の大半を占めていますが、「仕方なく子どもを同行させた」は16.0%となっています。



⑪-2 親族・知人にみてもらった際の困難度（SA）

【就学前：問 33-1】

親族・知人にみてもらった際の困難度については、「特に困難ではない」が45.3%、「どちらかという困難」が35.9%、「非常に困難」が12.6%となっています。



(6) 学童の利用について

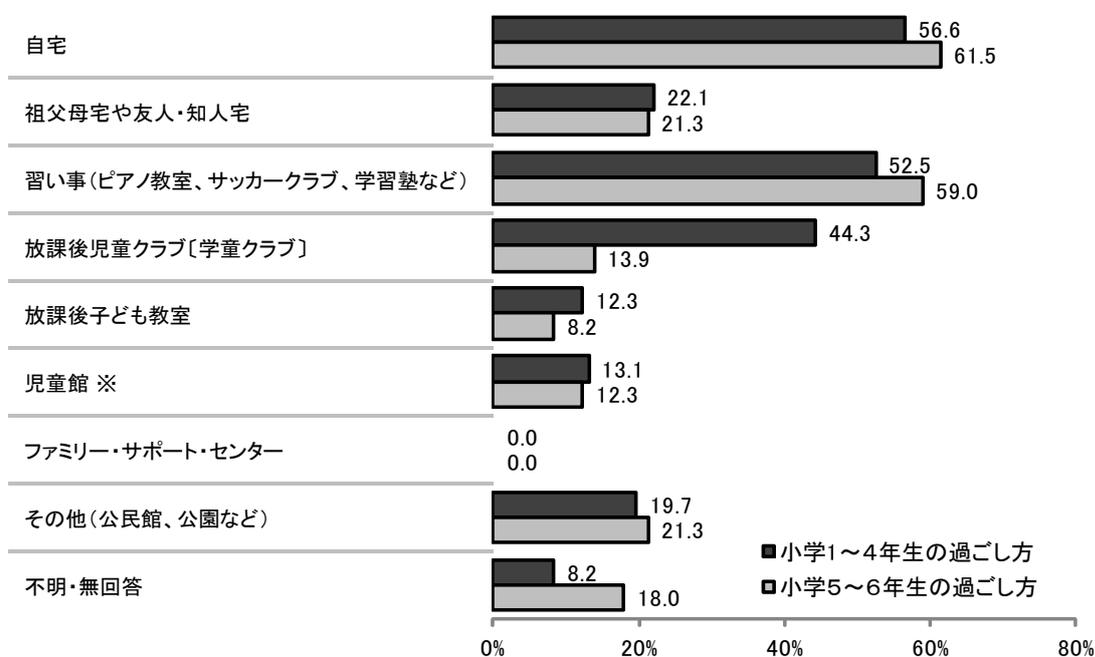
⑫ 小学校入学後の放課後の過ごし方 (MA) ※平成 26 年度小学校入学予定の児童のみ

【就学前：問 35】

小学校入学後の放課後の過ごし方については、小学生 1～4 年生では「自宅」「習い事」が 5 割以上と最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が 44.3% となっています。

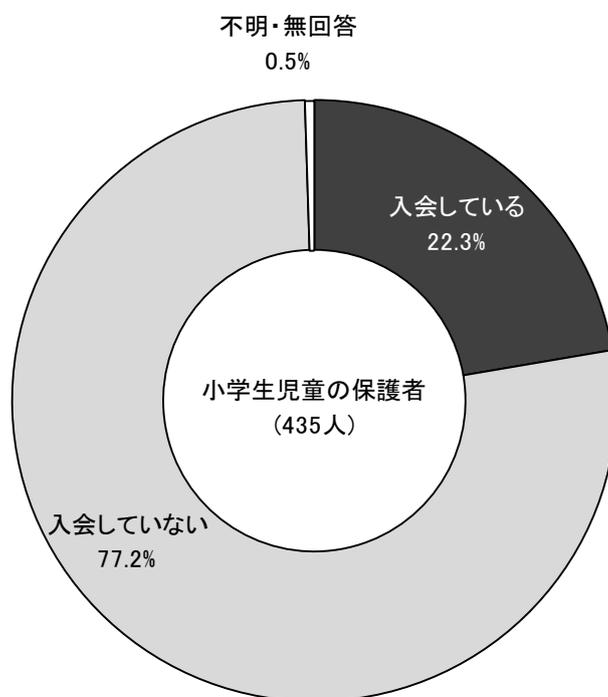
小学 5～6 年では「自宅」が 61.5% と最も多く、次いで「習い事」が 59.0% と僅差で多くなっています。「放課後児童クラブ」は 13.9% で小学 1～4 年生の過ごし方と比べると大幅に利用意向が少なくなっています。

平成26年度小学校就学予定の
未就学児童をもつ保護者(122人)



⑬学童クラブの入会状況（MA）【小学生：問16】

学童クラブの入会状況については、「入会している」が22.3%、「入会していない」が77.2%となっています。



⑭今後の希望する放課後の過ごし方（MA）【小学生：問17、問18】

今後の希望する放課後の過ごし方については、小学校1～4年生の過ごし方、小学5～6年生の過ごし方ともに「自宅」「習い事」の回答が6割以上となっています。

また、「放課後児童クラブ」については、小学1～4年生の過ごし方での回答が多くなっています。

